

食品健康影響評価を依頼する特定保健用食品の概要

厚生労働省食品安全部新開発食品保健対策室

麦の葉うまれの食物繊維

大麦若葉由来食物繊維を特定の保健の目的に資する栄養成分とし、
お腹の調子を整える旨を特定の保健の目的とする粉末形態の食品。

「麦の葉うまれの食物繊維」概要

1 有効性について

当該食品の便通改善作用を検討するために、便秘傾向者 59 名を無作為に 2 群に群分けし、ダブルブラインド・クロスオーバー法にて試験を実施した。対照飲料には大麦若葉末を澱粉に置き換え緑色に着色したものを用いた。その結果、対照飲料摂取期間と比較して排便回数および糞便目安量において有意な増加が観察された。¹⁾

2 作用機序

大麦若葉末を摂取することで、腸内通過時間が短縮され、糞便水分含量、糞便湿重量および糞便乾燥重量が増加することが確認された。これは、保水力と体積増加効果が高い大麦若葉末中の不溶性食物繊維が腸管内に溜まり、腸の蠕動運動を活発にしたためであると考えられた。また、大麦若葉末の便通改善作用は大麦若葉由来食物繊維によるものであると示された^{2) 3) 4)}

3 調査会指摘事項

- (1) 原材料の品質管理体制を明らかにすること。
- (2) 関与成分の安全性の資料を再考すること。
- (3) 副原料の使用目的、有効性への影響等について説明すること。
- (4) 表示見本（商品名、デザイン、成分分析表）を修正すること。

【引用文献】

- 1) 大麦若葉末含有飲料の摂取が便秘傾向者の便通に及ぼす影響, 日本食品新素材研究会誌, Vol. 9, No. 1 (2006)
- 2) 大麦若葉末の最大抱水量および水中沈定体積の測定, 株式会社東洋新薬社内報告 (2006)
- 3) 大麦若葉末画分がラットの腸内通過時間および糞便重量に及ぼす影響, 株式会社東洋新薬社内報告 (2006)
- 4) 大麦若葉由来食物繊維の摂取が便秘傾向者の便通に及ぼす影響, 株式会社東洋新薬社内報告 (2006)

(別添) 調査会指摘事項に対する回答

- (1) 品質管理に関する資料を全面的に見直した。
- (2) 関与成分の安全性の検討を行い、資料を見直した。
- (3) 副原料の使用目的と分量を明らかにした。また、それらを配合することによる有効性への影響を検討するため、本食品及び2種類の対照飲料を用いたダブルブラインド・クロスオーバー試験を行った。その結果、当該食品の便秘改善作用は、関与成分に起因することが示された。
- (4) 指摘の通りに修正した。